

■会員 Now

J F E エンジニアリング株式会社と風力発電

原動機システム部 風力発電室 石原 茂雄

電話：045-505-7364 (ダイヤルイン)

1. 750kW 機

写真は JWPA の 2006 年度フォトコンテストで入賞作品に選ばれた北海道天塩郡幌延町の「オトノレイ風力発電所」です。750kW の風車が日本海に沿って 28 基配置されており、当社が 2002 年に建設しました。



当社は 1996 年に、同期式発電機を開発したオランダのラガウェイ社と独占販売契約を締結し、80kW 機を手始めに 750kW 機を主力機種として、全国に 24 サイト、123 基を設置して参りました。その過程にあつては、機器の信頼性向上とメンテナンスサービスの充実化を狙いとして、ラガウェイ社とのライセンス契約により、国産化を実現しております。

2. 2000kW 機の導入

750kW 機を国産化し主力機種と位置づけて来た当社ではありましたが、間もなく出力大型化の波が急激にやってきました。そこで、2002 年にスペインのガメサ社からの風車購入を決断し、2000kW 機によるメガ機のマーケットへの進出を図りました。2 サイト、9 基を設置しています。

その後、世界的な風車ブームが到来しガメサ社の納期は瞬間に長期化してしまいました。斯かる状況下にあつて、ベスタス社の風車を購入し建設を進めた発電所も有りました。



写真は三重県の山岳地帯での風車設置の様相です。40m のブレードを運搬するため、運送会社に国内初の起立装置の開発を委託しました。

3. メンテナンスに情熱をもって

前述の状況からここ数年新規案件は途絶えてしまいましたが、当社のメンテナンススタッフは今日も全国のサイトを走り回っています。毎週金曜日にスタッフが全員集まって運転状況を確認しますが、稼働状況が良好であれば気分良い週末を迎えられます。そうでない場合は、当社の技術力を結集して問題を解決しなければなりません。手前味噌ですが、事務屋の筆者が見る限り、当社のスタッフはトラブルが起きればその対応を何よりも優先していますし、そこに情熱を感じずにはられません。

日本の事業用風力発電設備は事業期間をまだまだ残しています。当社が建設した最も古い風力発電所でもやっと 10 年目です。メンテナンスを続けることがお客様の事業成功に結実しますし、また、当社の技術力の蓄積にも寄与するものと信じております。JWPA では長期目標の設定を政府機関に申し入れましたが、国産メーカーとして再浮上するためにも、国内マーケットの活況を期待しています。